

ふれあい通信

ミツバチと里山の保全

勤務先を定年退職後、何をしようかと思案していたところ、市内のウォーキングマップを見つけ各コースを歩いてみることにしました。途中、ボランティアで竹林の伐採活動をしている団体に出会い、矢大臣山のふもとで育った小生にとって登山道整備の大切さを知っていましたので即入会を決めました。

そのボランティア団体の主な活動は、地主からの依頼を受け、竹林の伐採などをすることでした。伐採後の竹林の中に「あずまや」もつくりました。間伐材や孟宗竹などで楽しみながら屋根を葺きました。あずまや付近は豊かな自然にあふれ、近隣の小学校の児童が自然観察などで訪れるようになり、空洞の杉材を手に入れ遊具に加工し提供もしました。残った杉材でほかの会員とともに「みつばち」の巣箱をつくり、付近の畑に設置しました。

桜の咲く頃「みつばち」は活動時期にかかわらず、なかなか巣箱へ入りませんでした。7月末にやっと巣作りを始めました。

小野町への帰省の際「みつばち」の話を兄にす



横田 博司

よこた・ひろじ

- 湯沢出身
- 千葉県支部

ると、小野町の各所でも巣箱を置いている方がいるとのことでした。

「みつばち」の扱いについては素人で、今後どうしてよいか分からなかったので、地主さんに相談すると、福島県の大葉町から震災により避難されている方を紹介され、その方の指導で巣箱を増やし、分封(ぶんぼう)ができるような環境づくりを行いました。採蜜も無事行うことができ仲間に十分な「はちみつ」の配布もできました。

竹林の伐採など里山保全是、労力と少々の危険な作業を伴いますが、近隣の自然環境の美化とそこに暮らす我々の心を豊かにしてくれます。所属するボランティア団体は、卒寿を迎えた方も元気に参加しており、私も里山の保全を生きがいのひとつとして活動してまいりたいと思っています。

地域おこし協力隊活動記

皆さん、こんにちは。古崎泰介です。今回は4月29日に参加した「川の手荒川まつり」の様子をお伝えします。

これは小野町と交流がある東京都荒川区で開催される毎年恒例のイベントで、今年で第30回となりました。

首都圏の出展では、いつも「ふるさと小野町会」の方々が応援に駆けつけてくれます。当日は強風の中での販売となり、大変な状況でしたが、今回も皆さんの熱意あるセールスにより、多くのお客さんに納得して買っていただけたように思います。

より多くの方に町を知ってもらうため宣伝にも力を入れます。親子でお越しのお客さんには町へ遊びに来て欲しいので、リカちゃんのお城がある町だよ、と呼び掛けてみました。またハワイアンズがあるい

わき市から磐越道で約30分といった説明も覚えてもらいやすく、好印象でした。

宣伝した結果、町に興味をもってもらえるとうれしくなりますね。「あの時紹介してもらって遊びに来ました」といった話が聞けることを楽しみにして町のPRを続けていこうと思います。

